

SHO-BOND

電気防食工法

**貼付け型シート陽極を用いた
電気防食工法(面状外部電源方式)**

SHO-BOND

***e-Sheet-NP*工法**

国土交通省 新技術情報提供システム (NETIS) 登録 KT-150012-A

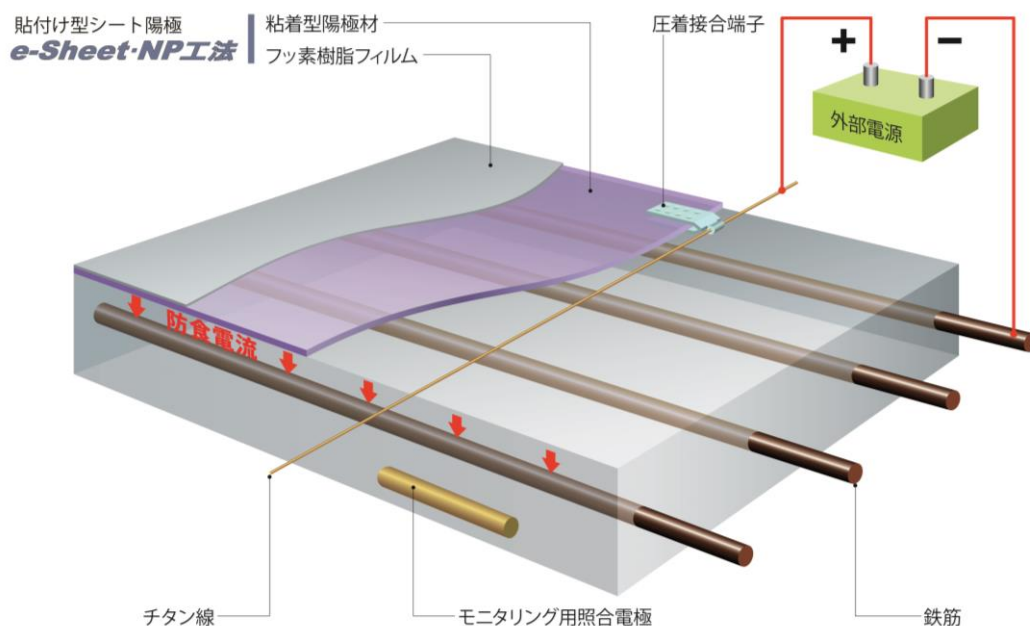


■補修工学—— 建造物の総合メンテナンス企業

ショーボンド建設株式会社

e-Sheet・NP工法 は、粘着型陽極材と耐候性に優れるフッ素樹脂フィルムを積層してシート状にした陽極（**e-Sheet・NP**）をコンクリート面に直接貼り付ける外部電源方式の電気防食工法です。

工 法 概 要



■ e-Sheet・NP の特徴

1. e-Sheet・NP の設置は、貼り付けるだけです。
2. 陽極材を粘着剤で貼り付けるため短絡・電食が起こりづらく、金属片除却等の前処理が軽減でき、躯体を傷つけません。
3. 面状のため、安定した防食性能を有します。
4. 表面には、フッ素樹脂フィルムを使用しており、耐候性、美観性に優れています。
5. 薄く、軽いため、構造物に負担を与えません。
6. 品質安定性に優れた工場加工製品です。
7. 施工が簡便なため、経済性にも優れています。

■ e-Sheet・NP の諸元／製品形状：460(幅) × 1000(長さ) × 1.3(厚) (mm)

質 量：450g／枚

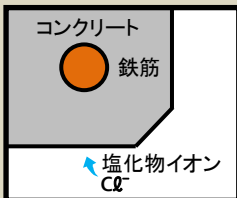
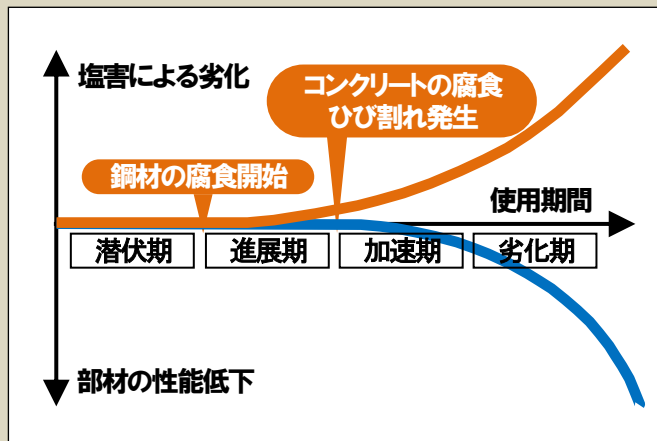


適 用

1. **e-Sheet・NP工法** は、鉄筋コンクリート構造物の塩害対策工法です。
2. **e-Sheet・NP工法** の効果が最も得られる劣化進行過程は、潜伏期～進展期*¹です。
(加速期から劣化期では、補強工法等、他工法の併用が必要な場合があります。)
3. 常時滞水・湿潤状態の部位(栈橋下面等)や波浪等を直接受ける部位には、適用できません。
4. 漏水等のある部位へ適用する場合は、止水・導水措置等の対策が必要です。
5. **e-Sheet・NP** は、導電性に優れた特殊シート状陽極を用いており、耐久性に優れます。

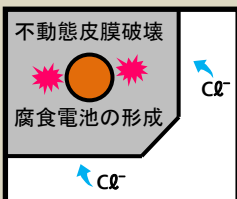
*1:「2007年制定 コンクリート標準示方書【維持管理編】」土木学会、塩害による劣化進行過程(下図参照)

■劣化過程と腐食の原理



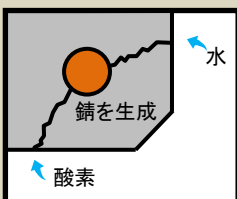
①潜伏期

鉄筋は不動態皮膜により保護されています。
コンクリート中に Cl^- (塩化物イオン)が侵入し、徐々に蓄積されます。



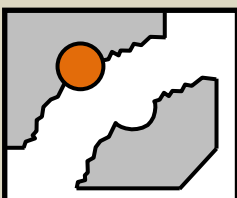
②進展期

鉄筋に達した Cl^- より、鉄筋表面の不動態皮膜が破壊され活性態へと変化します。活性態と変化した鋼材は、腐食電池を形成し、錆が生成されます。



③加速期

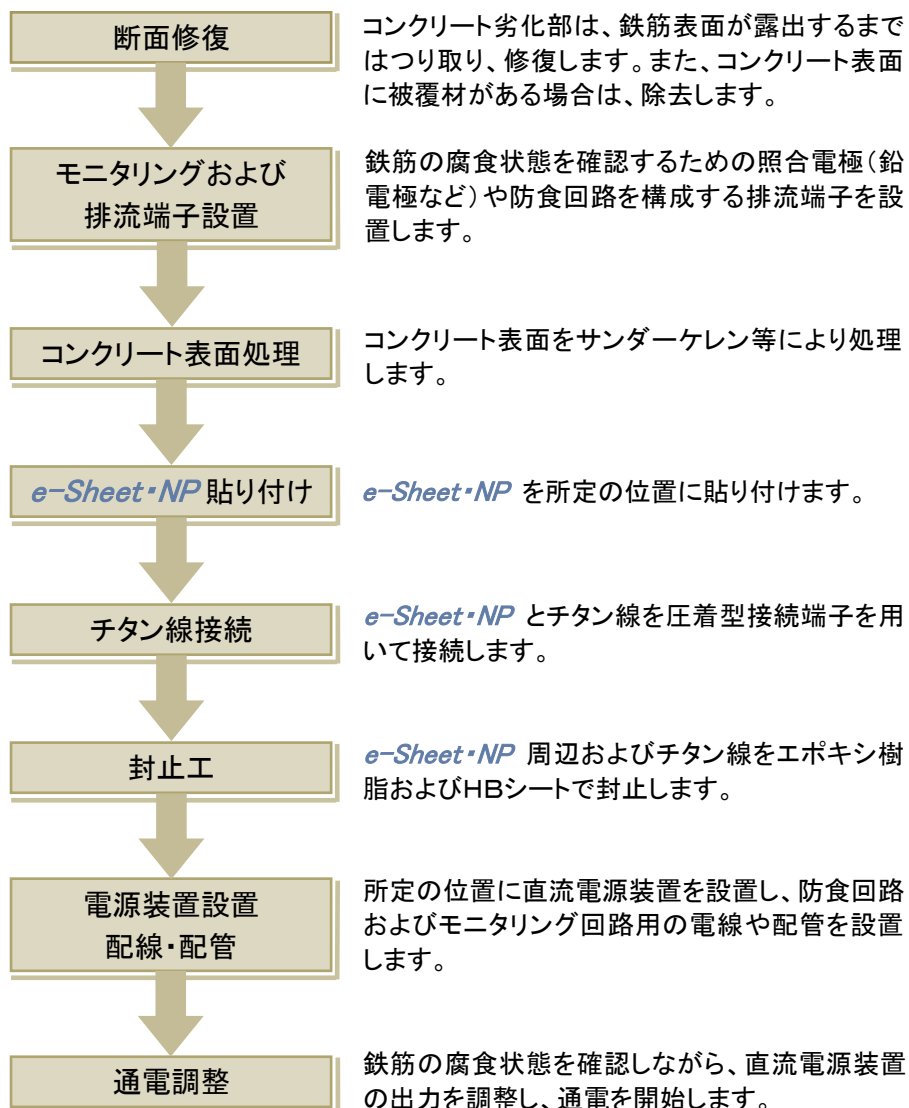
生成した錆の膨張により、コンクリートにひび割れが生じます。
このひび割れから塩分、酸素、水が供給され、鉄筋の腐食進行が加速されます。



④劣化期

かぶりコンクリートのはく離、鉄筋の破断などが起こり、耐荷力の低下が顕著になります。

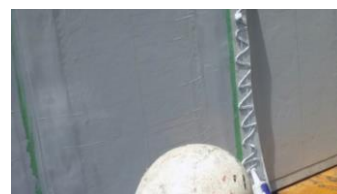
施工手順



1. e-Sheet・NP の貼り付け



2. シート・チタン線の接続



3. エポキシ樹脂の塗布



4. エポキシ樹脂の含浸



5. HBシートの貼り付け



6. 保護フィルムの除去

ショーボンド建設株式会社

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 7-8 TEL.03(6861)8101(代表)

<http://www.sho-bond.co.jp>

★品質改良のため、製品規格の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

●取扱い営業所